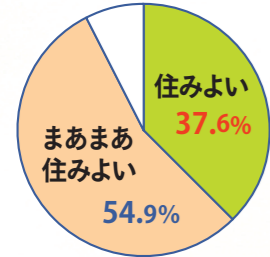


「住みよい」と答えた国分寺市民は **92%**

国分寺市の住みやすさ



都心から国分寺に帰ってくると、のんびりほのほのした空気感にホッとします。国分寺に魅力を感じ、このまちを生活の拠点に選んだ市民のひとりとして、納得の92%でした。

"住み続けたい"若者も多い!

「国分寺が好きで、引っ越してきた!」「国分寺で、なにか面白いことをやりたい!」という友人がたくさんいます。住み続けたいと思っている若者が多いまちに、未来への希望を感じます。

そのまちに住み続けたい若者の割合

国分寺	小金井	府中	小平
26%	18.3%	14.7%	10.4%

各自治体の市民アンケート調査報告書より

無所属
26歳

もっと!もっと

人に寄りそうグリーンな国分寺へ

鈴木ちひろ

未来へつながる
アクションを



先進自治体から学ぶ

ボトムアップの地方自治をめざしている東京の首長（保坂世田谷区長、阿部多摩市長、岸本杉並区長など）が集うイベントに参加。日頃から市民が政治に参加する「参加型民主主義」の重要性を再確認しました。杉並区の岸本聡子区長にお会いし、エールをいただきました。



岸本杉並区長と

気候市民会議の陳情 イベントも開催しました

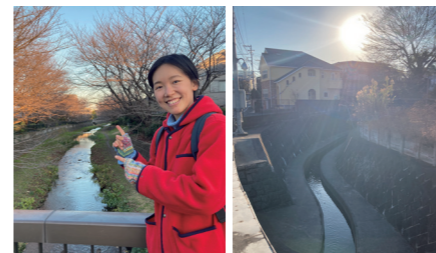
気候市内外の署名を集め、気候市民会議の陳情を提出しました。しかし、陳情を議論する場の委員会では、趣旨を議員に説明する権利が与えられずガッカリ。他の自治体では意見表明するチャンスがあるのに残念です。委員会もライブ配信すべきでは？



市役所へ陳情を提出

野川の自然河川へ調査

「野川源流スクール」に参加。国分寺と小金井の野川の違いは歴然! 国分寺が誇る野川の価値と魅力を再確認。安全で自然豊かな野川にいくために、頑張ります。



小金井市の野川

国分寺の野川

選挙キャンペーンに参加

気候危機問題と、政治分野のジェンダー平等を目指すキャンペーンに参加。全国の自治体議員、立候補予定者となつて、未来へ!



FIFTYS PROJECT: 政治分野のジェンダー不平等の解消を目指し、20代30代の女性議員を増やすためのプロジェクト
STOP 気候危機: 気候危機対策に真剣に取り組む議員を増やすためのキャンペーン

カンパ・ボランティア大募集!

「グリーンな国分寺」の活動はボランティアとカンパで支えられています。ぜひ、ご支援をお願いします。

郵便振替口座: 00110-1-636203 名称: グリーンな国分寺

連絡先 グリーンな国分寺 代表 鈴木ちひろ

Mail chihirosuzuki311@gmail.com



SNSでつながろう!

鈴木ちひろ 国分寺 で検索!

コロナ禍での学びが私の原点

2020年3月。コロナ禍のため留学生の来日が激減し、突然日本語教師の職を解雇されました。外国人留学生が抱える日本での生きづらさや、人権問題や格差、差別に対しての問題意識を強くしていた矢先の出来事でした。

突然失業し、将来への不安を抱えつつも、奄美での暮らしは、とても豊かな日々でした。野菜を分けてくれるご近所さんや、夕飯に誘ってくれる島の方々、そしてお祭りへの参加や、農業のお手伝いで、地域の「支え合い」の大切さを学びました。

奄美の海は素晴らしいのですが、白化したサンゴがとても多いことに気づき、「地球温暖化」「気候危機」を強く実感。こうした人とのつながりや、豊かな自然を大切に生活は私の原点として、今の問題意識につながっています。



鈴木ちひろ プロフィール

- 1996年 3月11日 神奈川県藤沢市生まれ
- 2016年 学生時代から日本語教師を始める
- 2018年 フェリス学院大学卒業
- 2019年 奄美大島へ日本語教師として赴任
- 2020年 那須塩原市の「アジア学院」にて有機農業を学ぶ
- 2021年 千葉県いすみ市「ブラウズフィールド」にて自然に寄りそった農業生活
- 2022年 国分寺市東元町 在住

仕事

国分寺「カフェスロー」
重度障がい訪問介護

活動

国分寺市ジェンダー平等を考える会
地域と人権を結ぶ会「まち・ひと・わたし」
国分寺赤米会 / スローツアー
ぶんぶんウォーク実行委員会

好きなもの

農作業 / 温泉めぐり / フラメンコ
ハイキング / 歌うこと / 散歩



クオータ制を推進する 東元町のカフェスロー 介護ヘルパーとして仕事 西元町にて
会で若者代表として登壇 にて仕事中 国分寺赤米の稲刈り

鈴木ちひろさんを応援します

- 上原美咲 (国際交流NGOピースポート職員)
- 宇都宮健児 (日本弁護士連合会会長)
- 大沢 豊 (NPOさんきゅうハウス理事長)
- 漢人あきこ (東京都議会議員)
- 汐見和恵 (元大学教授)
- 汐見幸幸 (白梅学園大学名誉学長)
- 島村菜津 (ノンフィクション作家)
- 須釜直美 (介護事業所スズガモ共同代表)
- 鈴木朋恵 (でめてる店主)
- 住田 綾 (フェアトレードショップEarth Juice店主)
- 関野吉晴 (『グレートジャーニー』探検家)
- 辻 信一 (明治学院大学教授、環境活動家)
- 樋口健二 (報道写真家)
- 福土正博 (東京経済大学元副学長)
- 三井マリ子 (女性政策研究者、元都議)
- 渡辺龍也 (東京経済大学教授)
- 渡辺倫咲葵 (ゼロカーボンシティ杉並の会)
- 吉岡 淳 (カフェスロー代表) 【50音順】

もっと!

グリーン、平和、フェアな未来へ種まきを

国分寺で、一緒にはじめませんか

もっと!

人に寄りそう国分寺

グリーンな国分寺

1 若者の声が届く市政へ

✓ 孤独解消へ支援を

日本の若者の死因1位は「自殺」で先進国トップです。コロナや就職難で孤独を感じ、追い詰められている若者は増えています。学校や自宅以外に安心できる居場所「サードプレイス」の設置や、気軽に相談できるプラットフォーム、シェルター作りが大切です。市と民間の連携を強くしましょう。

✓ 給付型奨学金の制度をつくろう

大学の奨学金の返済は、若者の将来不安をいっそう強くしています。多くの近隣自治体はすでに給付型の奨学金があります。国分寺市でもつくりませんか。

✓ 若者議会の設置を

16才～29才の若者が、当事者視点でまちづくり政策を考える若者議会や子ども議会がある自治体は投票率が高く、議員になった人もいます。

将来は 若者が孤立と不安に追い詰められず、未来に希望を持てるまち

2 ジェンダー平等を育む国分寺へ

✓ 生理の貧困をなくす

コロナによる女性の失業が増え、お金がないから生理用品の購入をためらう女性は35%にも上ります。学校や公共施設のトイレなどで生理ナプキンを設置することは、困っている女性の健康をサポートすることにつながります。

✓ 公務員管理職のクォータ制導入

国別の男女格差のランキングは、日本は146か国中116位。特に「女性の政治家と管理職が少ないこと」が大きな課題です。まずは自治体で「クォータ制(女性の割合が一定になるようにする制度)」を導入して、男女格差をなくしていきませんか。

将来は 性別に関係なく、だれもが尊重されるまち

3 生活不安解消へ多様な対策を

✓ 非正規公務員の待遇改善を

近年、保育所や介護ホームでの痛ましい事件が相次ぎ、公共サービスの質が低下しています。その要因は非正規公務員の低賃金と担い手不足です。「公契約条例」の活用で、非正規公務員の待遇改善で公共サービスの質向上を!

✓ 省エネ機器の支援策

電気代が上がり「エネルギー貧困」が増えています。長く使えるLED電球に変えるだけで、86%の省エネに。気候変動対策とセットでLED電球の支給を進めていきましょう。

✓ フードバンク、子ども食堂への支援を

居場所作り、地域とのつながり、孤食の解消。フードバンクや子ども食堂への支援は市民の今と未来を助けます。東京都は4月には米の現物給付を実施。市としてできることを考えましょう。

将来は 正規雇用をふやし、多様な働き方や暮らし方を認めあうまち

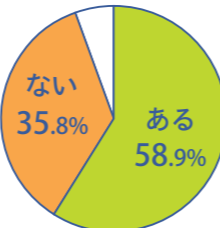
若者の自殺率	
15～19歳	50.8%
20～24歳	57.0%
25～29歳	52.0%

独自の奨学金有無	
小金井市	あり
府中市	あり
国分寺市	なし
武蔵野市	あり
日野市	あり



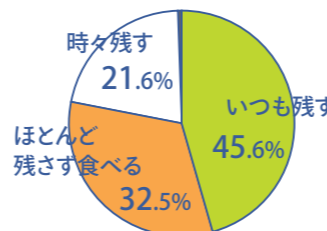
こだいらソーラー市民発電所を見学
災害時には、市民が使える電力に

生理用品の購入を
ためらったことのある
若年女性の割合



2021年4月「日本のユース女性の生理をめぐる意識調査結果」より

中学校給食のアンケート



2022年7月「中学校給食のアンケート」より

大好きな
国分寺のために



4 気候危機対策の先進自治体へ

✓ 気候市民会議の設置を

地球温暖化問題について、国分寺市民の88.5%が「重要」と回答。自然災害、断熱、省エネ、ゴミ問題など、気候危機は私たちの暮らしに直結しています。フランスやイギリスでは無作為抽出の市民が主体となって対策を考える気候市民会議が設置され効果を発揮しています。日本でも武蔵野市では行政主催で気候市民会議が開催されました。

✓ 公共施設は再生可能エネルギー(再エネ)100パーセントへ

2050年までにCO2排出量ゼロを目指す国分寺。まずはエコな新庁舎をお手本に、再エネやコンポスト、プラごみ削減に力をいれましょう。

将来は 再エネの地産地消を促進し、災害に強いグリーンなまち

5 農と自然でつながるまちづくり

✓ 国分寺の中学校給食を、美味しくあたたかく

いまは日野の工場で作った冷たいお弁当。市のアンケートでは「いつも残す」と回答した子どもが45%で、フードロスも多い。お隣の小金井市は無添加、あたたかい、なるべく地産地消! 未来に生きる子どもたちのために、「こくベジ」ももっと活用し、安全でおいしい給食を。

✓ 野川を自然型河川へ

国分寺は野川の湧水源として豊かな水資源があります。コンクリートではなく、自然型河川の実現を目指して、生物多様性あふれる憩いの場を作りましょう。

将来は 給食の無償化+豊かな自然を育み、すべてのひとが健康なまち

安心が育まれる未来へ

私の15歳の誕生日に起きた3.11福島第一原発事故は、環境、格差・貧困、ジェンダー、平和など、無関係だと思っていたさまざまな社会問題が全てつながっているのでは?と気づきはじめてた出来事でした。

内閣府の調査では77%もの人が不安を抱えています。「ケアワーカー」「非正規雇用」「女性」「Z世代」の私だからこそ、安心が育まれる未来へ向けて届けられる声があると信じ、活動を続けています。もっと!人に寄りそうグリーンな国分寺へ、一緒に取り組みませんか。

岸田首相! 「聞く耳」ない?

防衛費

物価高で生活は苦しくなるばかりなのに、増税して世界第3位の軍事国になるつもりでしょうか。武器をたくさん持てば、私たちは安全なのでしょうか。本当の平和は、対話から生まれるのでは?税金は軍事費ではなく、奨学金、医療費、学校給食費、暮らしのために使ってください。

原発

再稼働はもちろん、新增設なんてもってのほか。12年前の福島での原発事故を忘れてしまったのですか。私は福島に何度も通い、深い悲しみと被害を実感しました。私たちの未来を考えれば、再エネに力を入れるべきです。